

帯広小学校 生活のきまり

☆校内生活のきまり☆

登下校の仕方

- □通学路を守って登下校しましょう。
- □走ったり、遊んだりせずに登下校しましょう。
- □できるだけ2人以上で帰りましょう。



やくそく

- □時間を守りましょう。
- □名札をつけましょう。(下校時にははずす)
- □学校に必要のないものは持ってきてはいけません。(目的以外のキーホルダーは持って来ない)

遊び方

【体育館】

- □割り当て時間に遊びましょう。
- □ステージに上がってはいけません。
- □休み時間にボールやピアノは使えません。

【IOOランド】

- □ブランコなどの遊具は順番を守って遊びましょう。
- □木のわくに登って遊んではいけません。
- □ボール遊びは危険です。
- □放課後でも飲食はしません。
- □ゴミを捨てないようにしましょう。

【グラウンド】



- □フェンスに登ったり、乗り越えたりすると危険です。
- □自転車でグラウンドに入りません。
- □西玄関の表示を確認して遊びましょう。
- □ボールなどの片付けを忘れずにしましょう。
- □靴の泥や雪をよく落として、校舎に入りましょう。

【にこにこランド】

- □自転車でにこにこランドに入りません。
- □ボールや雪玉を投げて遊んではいけません。
- □車の出入り口や植え込み・花壇には入りません。



【非常階段】

□非常階段で遊んではいけません。

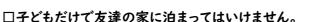


☆校外生活のきまり☆

出かける時

- □「どこへ」「だれと」「いつ帰る」を必ず家の人に伝えましょう。
- □子ども同士で校区外に行ってはいけません。(帯広図書館は除く)
- □帰宅時刻を守りましょう。

16:00まで・・10月~3月 17:00まで・・4月~9月



□保護者のいない家で子どもだけで遊んではいけません。

交通安全

- □自転車の使用は、家の人と相談して決めましょう。
- □道路・川・高架下・屋根の下などで遊んではいけません。
- □危険な遊び (エアガン・火遊び) はいけません。
- □ローラーブレードやキックボードは、安全な広い場所で使いましょう。

買い物

- □酒やたばこなどは、頼まれても買いに行ってはいけません。
- □デパート・スーパー・コンビニなどに子ども同士では行きません。

自分の身を守るために

- □知らない人の車に乗ったり、ついて行ったりしてはいけません。
- □危険を感じたら、大声で助けを求め、「子ども I I O番」 やコンビニ、近くの家など に逃げましょう。
- □住所や電話番号を知らない人に教えてはいけません。
- □夜間や、人通りの少ない場所、防犯マップで危険とされている場所には一人で 行かないようにしましょう。
- □髪の毛にパーマをかけたり、髪を染めたりする のはやめましょう。
- □衛生・健康管理面から、手指の爪は短く整え、 マニキュアなどは塗らないようにしましょう。化粧 をして登校してはいけません。
- □ピアスやイヤリング等の装飾品を学校には持ち 込めません。



帯小3つのあ

「あいさつ」・・明るく気持ちのよいあいさつ

「歩き方」・・・登下校やろう下では、きまりを守って

「後しまつ」・・次に使う人のことを考えて

娯楽・施設の出入り

【映画】

保護者と一緒に行きましょう。高学年(5,6年)は、小学生にふさわしい内容の映画に限り、保護者の許可をもらって、子ども同士で見に行ってもよいです。

【ゲームコーナー】

保護者と一緒に行きましょう。危険に巻き込まれる可能性があります。子どもだけでは行ってはいけません。

【その他】

- ・飲食店・ボウリング場・カラオケ・レンタルビデオ店には、家の人と一緒に行きましょう。
 - ・パチンコ・ビリヤード・スロットゲームなどのお店に出入りしてはいけません。
- ・夜間の外出は保護者同伴の場合で22時までとします。

【とかちプラザ・図書館】

とかちプラザや図書館は利用可能な公共施設です。買い食いはしてはいけません。他の人の迷惑(長い時間いる・走り回る・大声を出す・大人数で過ごす・場所を独占すること)のないようマナーを守って利用しましょう。

☆携帯電話のきまり☆

学校への持ち込み

□携帯電話の学校への持ち込みはできません。特別な事情がある場合は学校に ご相談ください。

家庭での使い方

- □家庭で使用する場合には、必ず「フィルタリング」を活用してください。
- □親子で「利用範囲・利用時間・課金・各種制限」などの家庭でのルールを決めてください。(ペアレンタルコントロールの活用をおすすめします)
- □友達同士の通話やメッセージのやりとりは、午後9時以降はしません。
- □許可無しに写真を撮ったり、SNS に上げたりしてはいけません。
- □SNS の危険性を理解し、子どもの利用制限のあるものについての使用は控えてください。